

## 水稻の病害虫発生状況（7月～8月上旬）

### 1 いもち病

- (1) 7月下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場割合及び発生程度は、中通り、会津においては平年より低く、浜通りにおいては平年よりやや高い状況でした（図1）。
- (2) 8月上旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場割合及び発生程度は、中通り、会津においては平年より低く、浜通りにおいては平年並でした（図2）。

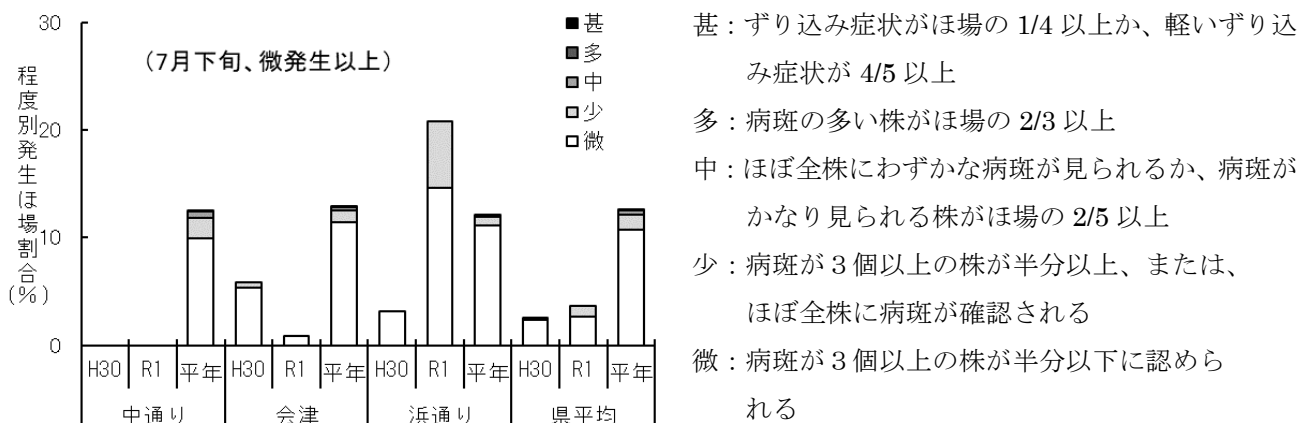


図1 葉いもち発生程度別ほ場割合（7月下旬）

※7月5～6半旬調査。平年はH21～30年の平均

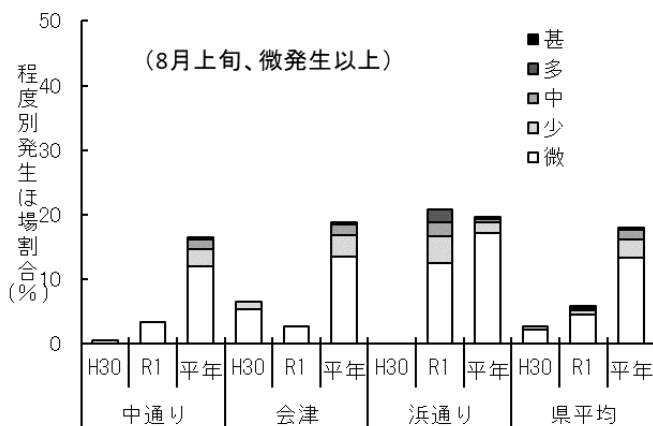


図2 葉いもち発生程度別ほ場割合（8月上旬）

※8月1～2半旬調査。平年はH21～30年の平均

### 2 紋枯病

- (1) 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場割合及び発生程度は平年を下回りました（図3）。
- (2) 8月上旬の巡回調査では、温度の上昇に伴い発生が高くなり、発生ほ場割合及び発生程度は平年よりもやや高い状況でした（図4）。

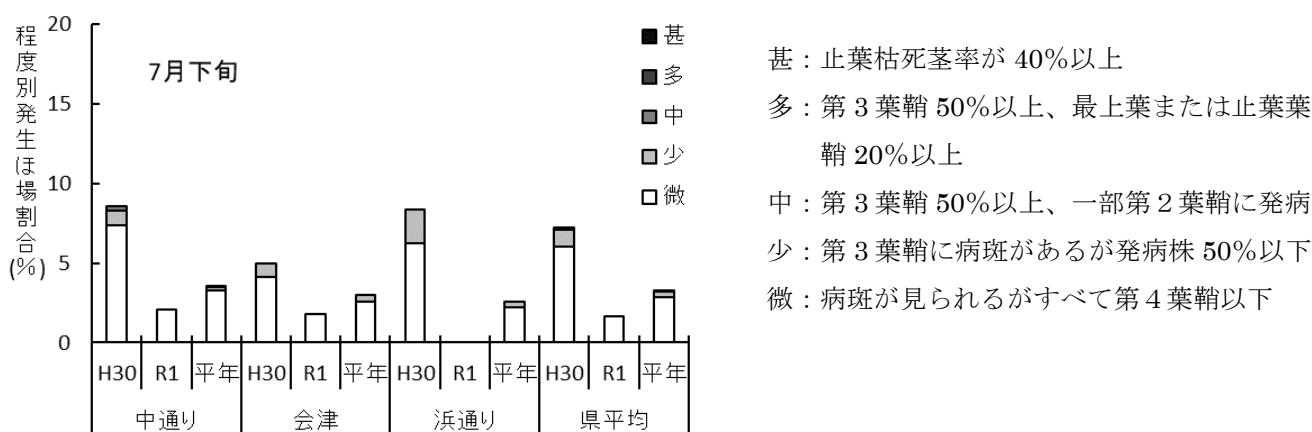


図3 紋枯病発生程度別ほ場割合（7月下旬）

※7月5～6半旬調査。平年はH21～30年の平均

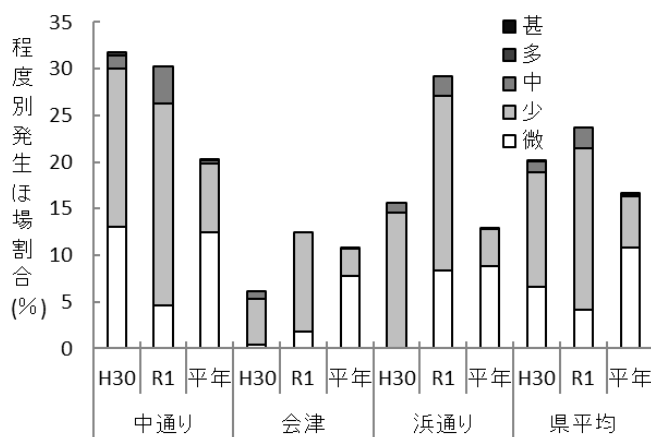


図4 紋枯病発生程度別ほ場割合（8月上旬）

※8月1～2半旬調査。平年はH21～30年の平均

### 3 斑点米カメムシ類

- (1) 7月下旬に畦畔で行ったすくい取り調査では、斑点米カメムシ類のすくい取り数はいずれも平年より低く、発生地点割合は平年並でした（図5、6）。すくい取り数のうち、アカスジカスミカメが最も多く、次いでアカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシでした（図5）。
- (2) 8月上旬に水田内で行ったすくい取り調査では、発生地点割合とすくい取り数ともに概ね平年並でした（図8、9）。すくい取り数のうち、アカスジカスミカメが最も多く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシでした（図8）。

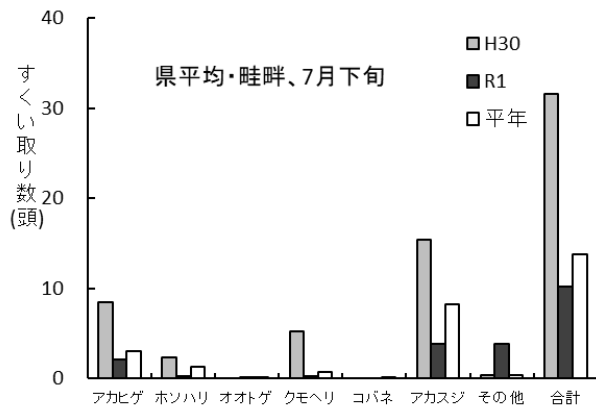


図5 畦畔雑草における斑点米カメムシ類のすくい取り数 (7月下旬、県平均)

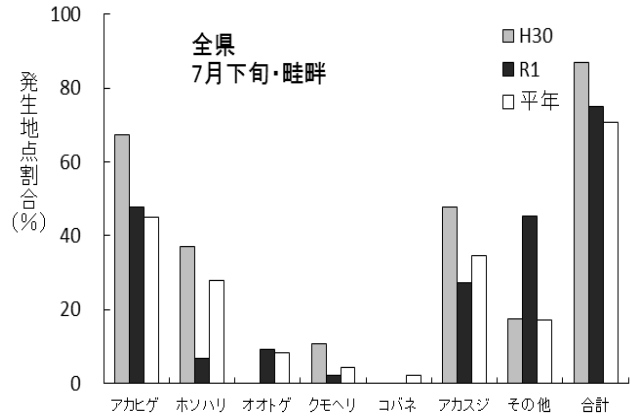


図6 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の発生地点割合 (7月下旬、県平均)  
注) 地点数中通り 23、会津 14、浜通り 7

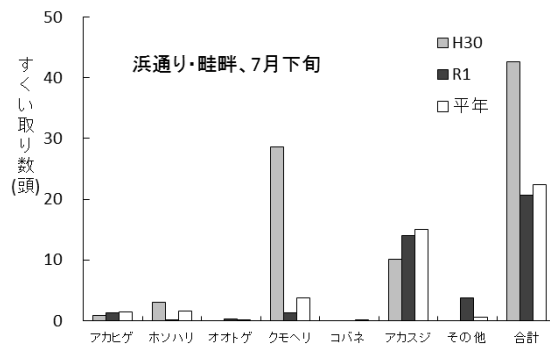
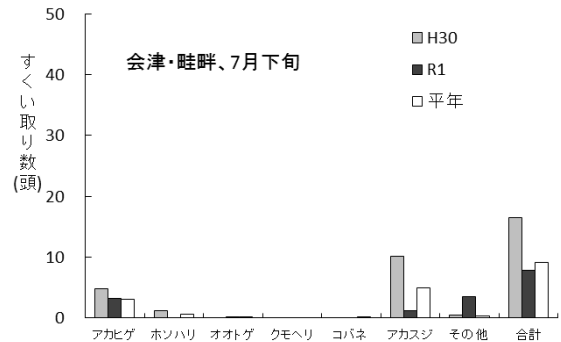
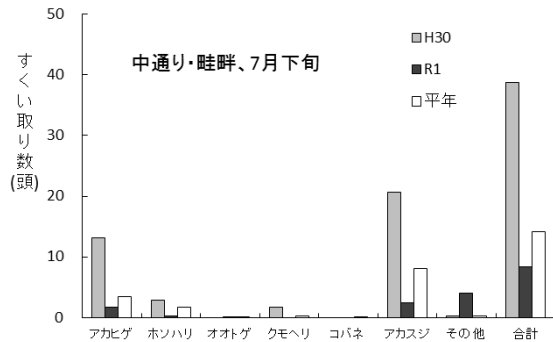


図7 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の加害種別のすくい取り数 (7月下旬)  
注) 地点数中通り 23、会津 14、浜通り 7

(アカヒゲ：アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリ：ホソハリカメムシ、オオトゲ：オオトゲシラホシカメムシ、クモヘリ：クモヘリカメムシ、コバネ：コバネヒョウタンナガカメムシ、アカスジ：アカスジカスミカメ、の略)

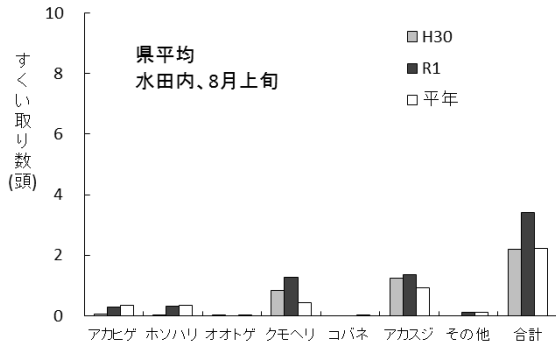


図8 水田内における斑点米カメムシ類のすくい取り数（8月上旬、県平均）

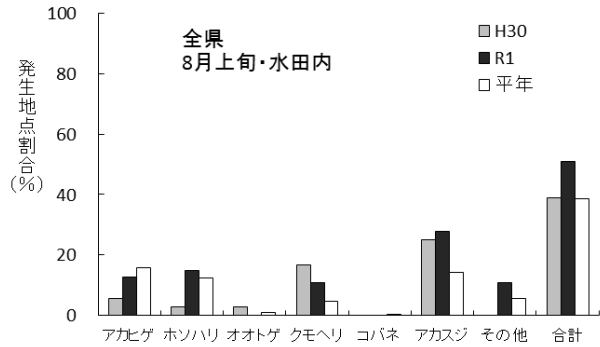


図9 水田内における斑点米カメムシ類の発生地点割合（8月上旬、県平均）

注) 地点数中通り 23、会津 15、浜通り 9

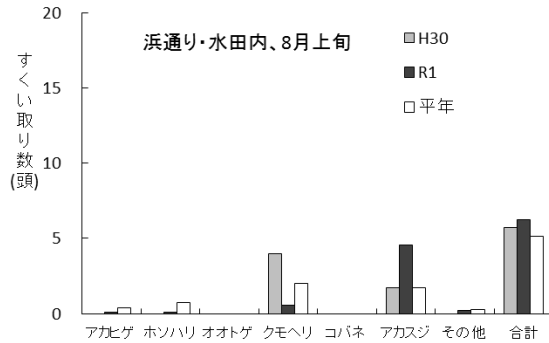
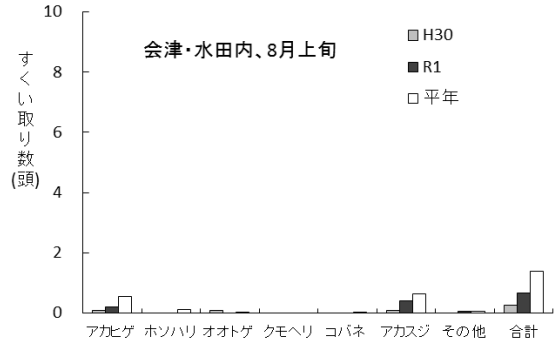
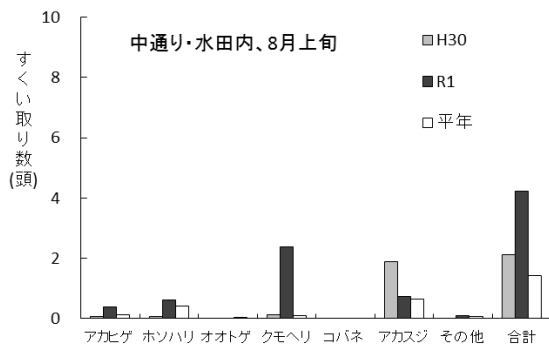


図10 水田内における斑点米カメムシ類の加害種別のすくい取り数（8月上旬）

注) 地点数中通り 23、会津 15、浜通り 9

(アカヒゲ：アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリ：ホソハリカメムシ、オオトゲ：オオトゲシラホシカメムシ、クモヘリ：クモヘリカメムシ、コバネ：コバネヒョウタンナガカメムシ、アカスジ：アカスジカスミカメ、の略)

#### 4 イネツトムシ (イチモンジセセリ)

(1) 7月下旬の幼虫(ツト)の発生ほ場の割合は、平年よりも低い状況です(図11, 12)。

(2) 浜通り(相馬)に設置している青色粘着トラップによる調査では、誘殺は6月5半旬から始まりましたが、誘殺数は平年を大きく下回っています(図13)。

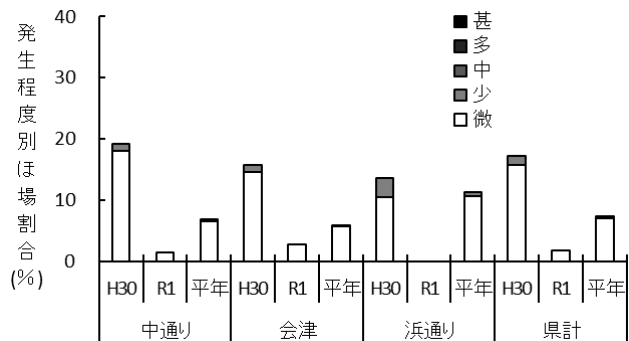


図11 幼虫(ツト)の程度別発生ほ場割合

※平年は、H21~30年の平均

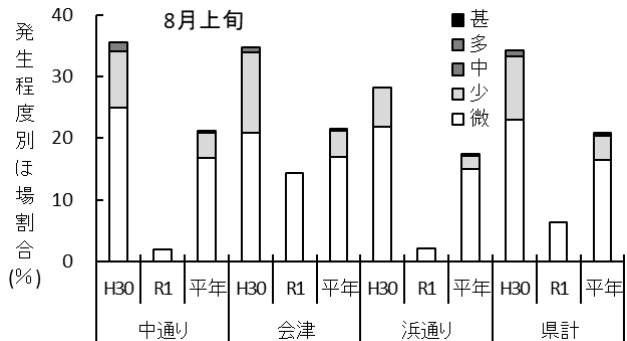


図12 幼虫(ツト)の程度別発生ほ場割合

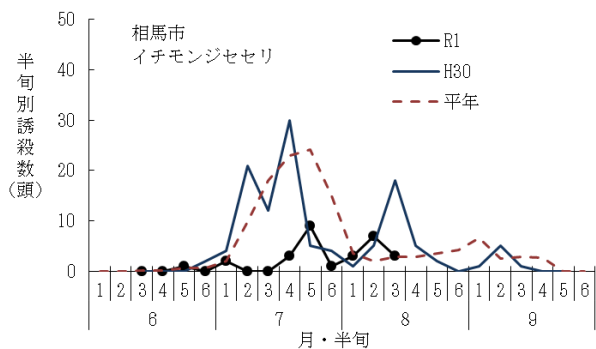


図13 青色粘着トラップによるイチモンジセセリの誘殺状況